

明細書には前年度に申告があった償却資産の内容が記載されています。

記入例

- 資産を新規に取得した場合には、余白部分に増加した資産を記入してください。
 - 明細書に記載されている資産に訂正、減少、削除がある場合には修正してください。

昨年度申告した内容を訂正するとき

訂正するときは、異動区分の「2」に○印をつけ、訂正する部分を赤字で訂正し、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

【例1】前年度申告した際に記入した耐用年数に誤りがあり、訂正するとき

異動区分 増 加 訂 正 減 少 削 除	資産の種類 資産コード	資産の名称等	数量 年号	取得年月 年 月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	課税標準の特例 率 コード	課税標準額	減少区分 1:全部 2:一部	増加事由	摘要
				年	月	年									
1 2 3 4 2	1111	天井走行クレーン	1 5 6 1				51092000	6				/		1・2	耐用年数の申告誤り

【例2】前年度申告した際に申告した取得価額に誤りがあり、訂正するとき

1 2 3 4 2	1112	骨材輸送設備	1 5 6 1		52000000	6						/		1・2	金額訂正
-----------	------	--------	---------	--	----------	---	--	--	--	--	--	---	--	-----	------

【例3】明細書に記載されている資産の名称等に誤りがあり、訂正するとき

1 2 3 4 2	1113	電気動力設備 電気設備	1 5 6 1		12428000	6						/		1・2	名称誤り
-----------	------	----------------	---------	--	----------	---	--	--	--	--	--	---	--	-----	------

令和7年中に廃棄・売却等により資産が減少したとき

資産が減少したときは、異動区分の「3」と減少区分に○印をつけ、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

※※ 注意 ※※

耐用年数が経過し減価償却が終了した資産であっても、事業の用に供しているものは減少資産に該当しません。

【例4】令和7年中に試験用圧縮機を売却したとき

異動区分 増 加 訂 正 減 少 削 除	資産の種類 資産コード	資産の名称等	数量 年号	取得年月 年 月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	課税標準の特例 率 コード	課税標準額	減少区分 1:全部 2:一部	増加事由	摘要
				年	月	年									
1 2 3 4 2	1133	試験用圧縮機	1 4 4 2				80000	6				/		1・2	売却

【例5】取得価額が2台で546,000円のエアコンプレッサーのうち、1台220,000円のものを廃棄したとき

1 2 3 4 2	1134	エアコンプレッサー	1 3 5 5 7		220000	6						/		1・2	一部廃棄
-----------	------	-----------	-----------	--	--------	---	--	--	--	--	--	---	--	-----	------

前年度に誤って申告した資産を削除するとき

申告する必要のない資産を誤って申告したときは、異動区分の「4」に○印をつけ、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

※※ 注意 ※※

廃棄・売却等により減少した資産は、異動区分「3」の減少で申告してください。

【例6】リースしているコピー機を償却資産として前年度に誤って申告したもの削除するとき

異動区分 増 加 訂 正 減 少 削 除	資産の種類 資産コード	資産の名称等	数量 年号	取得年月 年 月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	課税標準の特例 率 コード	課税標準額	減少区分 1:全部 2:一部	増加事由	摘要
				年	月	年									
1 2 3 4 6	1202	コピー機	1 5 6 2				500000	5				/		1・2	リース資産